



2007 2008  
Gifu North R.C.



# 岐阜北週報

## WEEKLY REPORT

1225

例会 毎週水曜日 題字 山口 八郎  
会場 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光桃林 2695  
tel 295-5222(代)  
事務所 岐阜商工会議所(岐阜市神田町2) tel 264-9235(代)

会長 山口 八郎  
副会長 小椋 功  
幹事 国井 省二  
会報記念誌委員長 原尾 勝

<http://gifukita-rc.com>



平成 19 年 9 月 26 日発行

9 月 青少年育成 月間

### - 本日のプログラム -

第 1226 回例会 9 月 26 日 (水)  
卓話 成瀬 康弘 先生  
「契約型 福祉社会を支える  
新たな仕組み」  
担当: 安藤 (紳)・若山 会員

### - 前週のプログラム -

第 1225 回例会 9 月 19 日 (水)  
クラブフォーラム (4) 100 万 \$  
担当: 社会奉仕委員会 (松野秀計委員長)  
➤ 点 鐘  
➤ ロータリーソング「それでこそロータリー」



### 出席報告 <<出席委員会>>

本日のホームクラブ	32 / 34	94.12%
-----------	---------	--------

◇ 本日のホームクラブ欠席者 2 名  
波多野光裕君・水川渥君

### 委員会報告

◇ 親睦委員会 <<笠井 会員>>

10 月 13 日 (土) 氷見ロータリークラブとの観月例会がございました。出欠席のご報告宜しくお願い致します。2 日目は、ゴルフ・観光組に分かれて行きますので、そちらの出欠席も重ねて御報告の程、宜しく御願致します。

◇ 米山奨学委員会 <<小島 正三 委員長>>

土曜日に、米山の関係で、セミナーがございました。ガバナー出席のもと、伊達カウンセラー、委員長皆さん、声をそろえて言っておられた事は、非常に資金が少なくなってきているので、宜しくお願ひしたいとの事でした。

2630 地区のクラブ資出の平均が 4,000 円で、是非とも 5,000 円にしてほしいというのが、委員長のお言葉でした。

当クラブは、聞くところによると、堂々の 5,000 円でしたので、充分満足のいく結果でした。

◇ 幹事報告 <<国井 省二 幹事>>

本日、理事会を行います。理事・役員の方出席お願い致します。

### 会長挨拶 <<山口 八郎 会長>>

- (1) 総務省発表 (9 月 17 日) によると  
65 才以上 2,744 万人 (総人口 21.5%)  
80 才以上 713 万人 (総人口 5.5%)  
生産年令人口 (15~64 才) 65 才以上の  
人口比率 33.1%  
高齢者 (65 才以上) が仕事に従事している  
人工 510 万人 3.9%  
以上のように、日本人口は高齢化が進んでいる。  
この原因としては、晩婚化、非婚化によるものであるように思われる。
- (2) 飲酒運転の法規がより厳罰化された。  
(9 月 19 日より施行)  
例えば (飲酒運転) 100 万円罰金、  
5 年以下の懲役。
- (3) 米山奨学・研修セミナーに参加して  
地区委員長より、奨学金の協力のお願ひがあった。

## ◇ ニコニコBOX 《岡田 忍 会員》

\* 川島明雄君… 今日も元気で。

## 例会行事 クラブフォーラム(4)

## ◇ 担当：社会奉仕委員会 《松野 秀計 委員長》

## 1. - 社会奉仕に関する声明 -

1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択した(以後改正された国際大会決議23-24とともに使用されるべきものである)

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生、育成することである。

## 2. - 社会奉仕 -

ロータリーの性質は奉仕に定義されます。それが地元社会におけるものであろうと、国際社会におけるものであろうと、地域社会におけるロータリーの魅力や存続性を高めるのは奉仕であり、奉仕こそがロータリーが成長し続けている理由なのです。

## 3. - 個人の豊かな人生と新たな「公共」による社会を目指して -

都市化や核家族化・少子化等の進展により、地域の連帯感、人間関係の希薄化が進み、個人が主体的に地域や社会のために活動することが少なくなっている。個人と社会との関わりが薄らぐ中で、青少年の健全育成、地域の医療・福祉・環境保全など社会が直面する様々な課題に適切に対応することが難しくなっている。

このような社会状況の中にあって、個人が地域社会で行うボランティア活動やNPOの活動など、利潤追求を目的とせず、社会的課題の解決に貢献する活動が、従来の「官」と「民」という二分法では捉えきれない、新しい「公共」のための活動とも言うべきものとして評価されるようになってきている。

本報告では、このような、個人一人一人が経験や能力を生かし、個人が支え合う新たな「公共」を創り出すことに寄与する活動を幅広く「奉仕活動」として捉えた。このような「奉仕活動」を行うことは、個人に生涯にわたる主体的な学習の契機や社会参加の場を提供し、個人が自己実現をし、豊かな人生を送るための鍵ともなり、「個人がより良く生き、より良い社会を創る」ことのつながる。

このため、国民が、周囲の人々や地域のために何かを行うことに喜びを感じ「奉仕活動」をごく自然に行うことができるように、社会全体で活動に取り組みやすい環境づくりをすることが求められる。

また、青少年の時期には、学校内外における奉仕活動・体験活動を推進する等、多様な体験活動の機会を充実し、豊かな人間性や社会性などを培っ

ていくことが必要である。そのような機会の充実を図ることが、社会に役立つ活動に主体的に取り組む、新たな「公共」を支える人間に成長していく基盤にもなると期待される。

## ◇ しいの実・チャリティーゴルフコンペ

開催地：ボウヴェールカントリー倶楽部

順位	氏名	グレイ	HCP	NET
優勝	岡田 忍	96	24	72
準優勝	森本時夫	97	24	73
3位	永瀬 章	98	24	74



➤ 閉会の辞 《小椋 功 副会長》

➤ 点 鐘

次回例会のご案内 10月3日(水)

- ・ 慶祝行事
- ・ 卓 話

担当：安藤(武)・森本 会員

担当/クラブ会報委員会 安藤 紳一郎